

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員

大串 友則

実施月日	令和7年2月12日(水)		
実施時間	9時30分～11時30分		
調査先	岐阜市役所		
調査所在	岐阜県岐阜市司町40番地1		
調査の目的	自動運転バスの取組みについて		
調査先担当者	岐阜市都市建設部長 太田氏、交通政策課長 川田氏、他3名		
内容・結果等	(内容)岐阜市の自動運転バスの取組みについて。		
	平成31年4月 岐阜市公共交通自動運転技術活用研究会設立		
	令和元年5月 スマートシティモデル事業(国交省)「重点事業化促進プロジェクト」に選定		
	令和元年7月 近未来技術等社会実走事業(内閣府)に選定		
	令和2年11月 自動運転実証実験 体験者:196人(4日)ノスマートシティぎふ推進プロジェクト実行計画策定		
	R3年10月 自動運転実証実験 体験者:514人(9日)		
	R4年10月 自動運転実証実験 体験者:1,537人(1カ月)		
	共創の場形成支援プログラム(文部科学省)採択		
	令和5年 中心市街地で全国初となる自動運転バスの5年間の継続運行をスタート		
	(まとめ) 岐阜市の自動運転バスはただ単に未来の交通手段としてではなく、市民共創型イノベーションの一角を担っていると感じた。最先端技術をただ導入するのではなく、市民とともに未来の形を共有してまちづくりを進めていくことの大切さ、その姿勢が町の再構築に繋がるのではないかと感じた。		
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先
旅費			12,340
宿泊費		ANAパック	55,400
合計			67,740

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること